

見附市議会議員 様

令和 8 年 8 月 27 日

見附市議会議員 佐野 勇

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

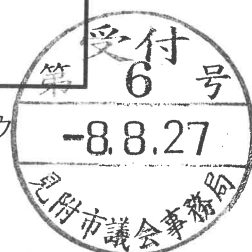
【 1 】 「コメの仮渡金」の下落から農家をどう守るか

答弁を求める者 市長

見附市は、農業産出額の 8 割以上をコメが占める水田農業中心の地域です。また、見附市の令和 8 年度当初予算には水田農業支援補助金、収入保険加入促進事業補助金などが計上されていました。農業者は大きな期待に胸を膨らませ一生懸命コメ作りおこなってきたところが、収穫直前に JA 仮渡金(一般コシヒカリ一等米 60 キログラムあたり 18,500 円)と衝撃的発表がありました。また、8 月 26 日の新潟日報朝刊では、消費税減税に伴い減収が懸念される農家に直接補助金を支払う制度が検討されることの記事がありました。国の農業政策は、コロコロ変わる「猫の目政策」と言われ農業者は計画通り進まない現状から、見附市独自のさらなる支援策が必要と考え以下質問します。

- 1 農家にとっての仮渡金は、収穫後の経営資金を確保するためのもので、昨年比で 4 割ほど下落となると今後の経営が心配との声が聞かれます。今年の仮渡金の状況について見附市はどのように把握されていますか。また、農家の収入や農業経営にどの程度影響が出ると市長は認識していますか。
- 2 仮渡金の下落によって農業経営が急激に悪化した場合、市独自の緊急的な追加支援策を講じる考えはありますか。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウエ



- 3 見附市として、農家の経営状況を継続的に把握するため、JA、農業委員会、土地改良区、農業法人、認定農業者などとの意見交換会を定期的に行う考えはありますか。そして、その結果を今後の農業政策や予算編成に反映させる考えはありますか。
- 4 若手農業者や農業法人など、地域農業の中心となる担い手を守るため、今後どのような政策を進めていく考えでしょうか。
- 5 市長は、今後の見附市農業政策において、農家の所得を確保するという視点を、これまで以上に重視する考えはありますか。
- 6 市長は、今回のコメの仮渡金の下落を、見附市の農業の将来を考える重要な警鐘と受け止め、農家の所得確保、担い手育成、農地維持を一体として捉えた新たな農業政策を検討する考えはあるのか。最後に市長の決意を伺います。